

# EtherScope® nXG & AirCheck G3 v2.3 Release Notes

June 22, 2023

この EtherScope リリースノートでは、このリリースに含まれる新機能と機能強化について簡単に説明します。

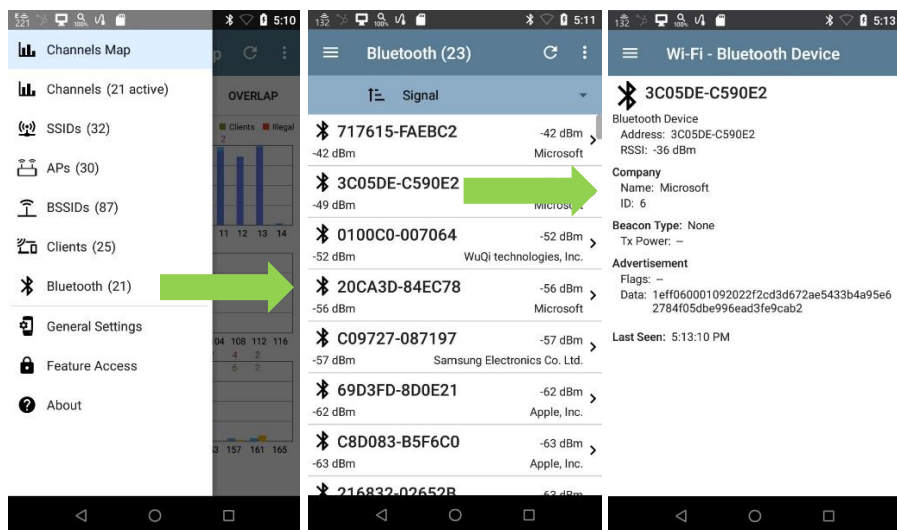
本リリースノート末尾のソフトウェア・アップグレードの説明を参照してください。

## Version 2.3 新機能

注記がない限り、EtherScope 200 および 300、AirCheck G3に適用されます。

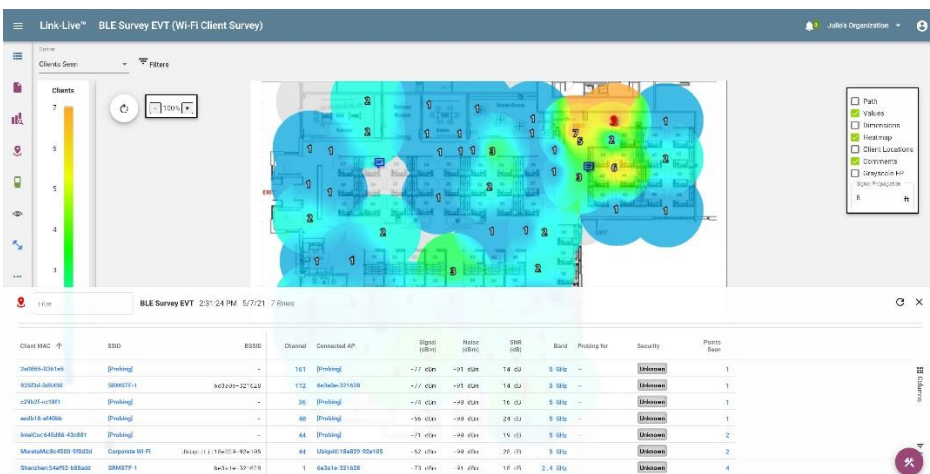
### Wi-FiアプリでBluetooth/BLEデバイスを可視化

- 不正なBluetooth/BLEデバイスの検出が以前より簡単になります。Wi-Fiアプリは、エリア内のすべてのBluetooth/BLEデバイスを可視化し、さらにそれらがどのように設定されているかの詳細を提供します。各デバイスで確認可能な情報は以下になります：
  - MAC Address
  - RSSI
  - 会社名
  - ID
  - 通知データ
  - 最終検出
- Bluetooth/BLE ビーコンの場合、以下の情報も確認できます：
  - Beacon タイプ
  - Tx パワー
  - 通知フラグ



## AirMapperのWi-Fi Client Site Survey

- サイトのセキュリティスキャンを実行する際に必要なのは、アクセスポイントとその場所の可視性だけではありません。また、Wi-Fiクライアントデバイスの可視化も必要です。AirMapperアプリは、パッシブサーベイにアクセスポイントとクライアントデバイスの両方のデータを収集します。
- サイトサーベイを完了したら、テスト結果を Link-Live にアップロードし、新しい [Wi-Fi Client Survey] を選択します。ここから、2種類の表示オプションを選択できます：
  - Clients Seen – フロア全体で検出されたクライアントの数を表示します。
  - Client Signal (dBm) – クライアントデバイスのシグナルカバレッジを表示します。
- 各表示オプションには、以下の条件でフィルタリングするオプションがあります：
  - Client MAC
  - SSID
  - Points Seen
  - Channel
  - Connected AP
  - Band
  - Security



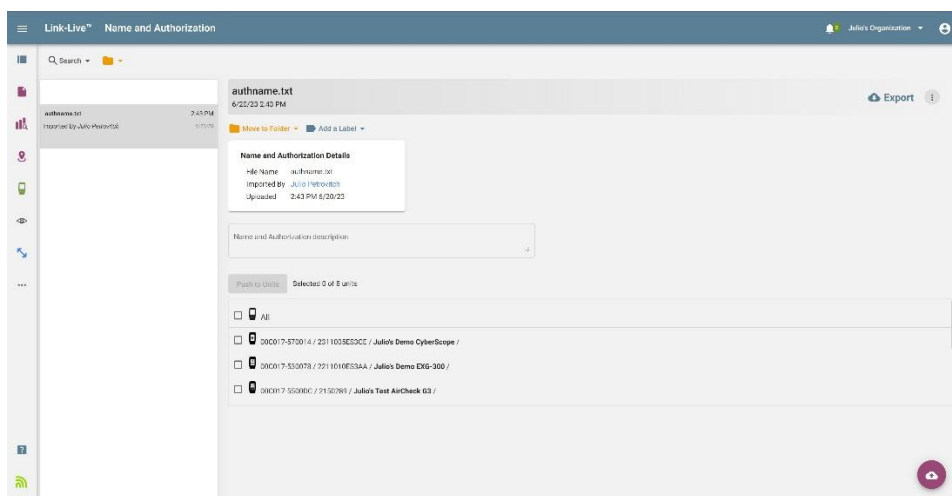
## Link-Liveから認可リストをダウンロード

- 認可リストを使用すると、ネットワーク上の既知のデバイスと未知のデバイスをすばやく簡単に区別できます。また、Wi-Fiアクセスポイントに名前や別名を割り当てるのにも最適です。
- このリリースでは、認可リストを EtherScope nXG 並びに AirCheck G3に手動でインポートするオプションが提供されるだけでなく、Link-Live からリストをダウンロードできるようになりました。これを行うには、まず認可リストをLink-Liveにアップロードする必要があります：

- Link-Liveの装置管理オプションを選択します。
  - [設定]を選択します。
  - [Import Name and Authorization]を選択します。
  - インポートする認可リストをドラッグ アンド ドロップするか、[Browse for file]で参照します。
  - [Import]を選択します。
- 認可リストを Link-Live にアップロードしたら、次のステップでは、ファイルを EtherScope nXG または AirCheck G3にプッシュします。手順は以下になります：
    - Link-Liveの装置管理オプションを選択します。
    - [設定]を選択します。
    - [Name and Authorization]を選択します。
    - フィールド内のユニットにプッシュしたい認可リストを選択します。
    - ファイルをプッシュしたいユニットにチェックをいれ、[適用]を選択します。

**Note:** 対応する認可リスト形式の詳細については、ディスカバリユーザーガイド 402ページを参照してください。

**注意:** 認可リストは日本語設定のユニットには対応していません。



## バージョン2.3でのその他の変更点:

- Link-Liveリモートコントロールオプションを使用している間、キーボードの PgUp/PgDn/Up/Downキーを使用して、ディスカバリおよびNmapアプリで長いリストを簡単にスクロールできるようになりました。
- パフォーマンステストアプリでレイヤー3オプションを設定する際、TOS With DSCPオプションを使用すると、CS1クラスからCS7クラスを選択できるようになりました。(EtherScopeのみ)
- 自動テストアプリを使用してFTPテストを実行する際に、より大きなファイル (100MBおよび500MB)を使用できるようになりました。

## Version 2.3へアップグレード

Link-Liveにご登録いただいている場合は、OTA(Over the Air)ファームウェア・アップデートに従うことを強くお勧めします:

1. 利用可能なソフトウェア・アップデートをいつでもチェックするには、ホーム画面からLink-Liveアプリを開きます。
2. Link-Liveアプリで、メニューアイコンをタッチするか、右にスワイプして左側のナビゲーションドロワーを開きます。



3. [ソフトウェア・アップデート]をタッチします。ソフトウェア・アップデート画面が開き、利用可能なアップデートのバージョン番号が表示されます。
4. [ダウンロード+インストール]をタッチしてシステムをアップデートします。
5. 完了すると、ユニットが再起動します。